

仕事中の喧嘩のケガは 労災になるのか？



今から約5年前。私は心底悔しい思いをしました。それは社労士試験の合格発表のときの事です。社労士試験というのは10科目あるのですが、総合得点で合格ラインを20点以上も上回っていたにもかかわらず、試験に落ちてしまったのです。なぜか？社労士試験には2つの合格基準があります。1つは「全体の総合得点が合格ライン以上である」そして、もう1つが「全科目がそれぞれ合格ライン以上である」です。合格のためにはこの2つをクリアする必要がありますが私は、10科目のうち1科目で、合格ラインに1点足りなかったのです。この結果には本当に悔しい思いをしました。(両方ダメならまだ納得もいくのですが)

ただ、もちろん受験生すべてが同じルールでやってるわけであってどんなに総合得点が高かったと言っても「片方がオツケだから合格」とは、当然ながらなりません。ルール通りに「両方の条件を満たす」ことが、必要なのです。これは労災にも同じことが言えます。労災が認められるには、2つの条件があります。それは「業務起因性」と「業務遂行性」です。簡単に言うと、「仕事に関連

しているか(業務起因性)」と「仕事の時間中か(業務遂行性)」の両方を満たしているかどうかです。例えば、仕事の時間中に気分転換になわとびをして、足首を痛めたとします。これが労災になるかというなりません。なぜなら、確かにケガをしたのは仕事の時間中ではありますがなわとびは仕事とは全く関係ないからです。

ではこれが「仕事中の喧嘩」であればどうでしょうか。みなさんの中には「喧嘩は社員同士の個人的な問題」として、労災とは関係無いと考える人も多いかも知れません。それについて裁判があります。

ある建設会社で、部下に作業命令をしたある社員がその部下と口論になり、背中を殴られてケガをしました。これを労災として申請したところ労基署が認めなかったため裁判を起こしたのです。では、この裁判はどうなったか？労災と認められました。その理由は次の通りです。

- 暴行が、部下に対する仕事上の指示・注意をしたことに関連して行われている
 - 仕事と無関係な個人的な恨みなどによって暴行されたわけではない
 - (ケガをした社員が) 挑発的、侮辱的な行為をしたことによって暴行を受けたわけではない
- つまり、「仕事に関連して暴力を受けた」と認められたわけです。

いかがでしょうか？「仕事に関連して」と認められたということは当然に会社の責任問題にもなるということです。ここで実務的に注意すべき点が2つあります。

まず1つ目が、もし万が一、会社で喧嘩があったらそのままにしておかないことです。「喧嘩は社員同士の個人的な問題」などと考えてそのままにしておくと、場合によっては被害者側の社員から訴えられる可能性があります。詳細な状況を確認し、必要があれば会社からの謝罪や見舞金の支給なども検討すべきでしょう。2つ目が就業規則にルールをしっかりと定め、それを社員にきっちり周知徹底することです。みなさんの会社の就業規則には喧嘩や暴力をふるった場合の罰則が定められていますか？それは周知徹底されていますか？これらが1つでも欠けていると万が一の場合は、会社にも責任が発生してしまいます。繰り返しますが、「喧嘩は社員同士の個人的な問題」では、すまされません。「会社の問題」として常に意識しておく必要があるのです。

(ただし、仕事中の喧嘩がすべて労災と認められるわけではありません。喧嘩と仕事の関連性が無い場合は労災とは認められません)

※当コラムはわかりやすさを最優先しています。そのため法律の一部の例外は省略している場合があります。ご不明な点はご相談ください。

特定社会保険労務士 小林一石

NEWS 同性パートナーも配偶者として福利厚生を適用 リクルート

リクルートホールディングスは、全ての従業員が自分らしさを活かし、個性が尊重される職場環境づくりの一環として、就業規則で定めている配偶者やその家族に適用される福利厚生を同性パートナーにも適用することを決定したそうです。今後もこのような会社が増えそうですね。

NEWS パソコン用スタンディングテーブルの導入を開始 アイリスオーヤマ

アイリスオーヤマは働き方改革の一環として、立ちながらパソコン操作を行うスタンディングテーブルを導入したそうです。その効果として①集中力の向上②独創的なアイデアの創出③健康の維持、をあげています。「立ち会議は時間短縮効果あり」とは聞きますが、パソコンも同様？

Bグルメ 王ろじ



新宿三丁目駅より
徒歩4分
定休：水

食ベログ
3.58 ★★★

知り合いのFacebookにアップされていて、あまりに美味しそうなので行ってみたお店です。創業はなんと大正10年！とんかつの名付けの親と言われているお店だそうです。大人気はこのカツカレーですが、オプションで選べるこの豚汁(写真右)も秀逸でした。